

ふうけいきこう
風景紀行
ビーナスライン
 50
 東信森林管理署
 (各署の景勝地等を紹介)

ビーナスライン

【東信署】通称「ビーナスライン」は東信、南信、中信署にまたがって指定されている「八ヶ岳中信高原国定公園」の蓼科山から美ヶ原高原までの北半分を、標高一、六〇〇から二、〇〇〇以上の高原地帯を縫うように縦断できる全長七六キロメートルの自動車道です。

このビーナスライン沿いには、宿泊施設が集中している「白樺湖高原」があり、夏はハングライダー、冬はスキーが楽しめます。「車山」では、グライダーの滑空が見られます。「霧ヶ峰」には、高層湿原の「八島が原湿原」そして、「美ヶ原高原」があります。

この美ヶ原高原は、台地状の地形であるため、周囲三六〇度が見渡せ穂高連峰から八ヶ岳、浅間山まで眺望できます。また、約三〇〇の牧場が放牧共用林野として美ヶ原牧場畜産組合が利用しています。ほかには野外美術館、宿泊施設

もあります。

ビーナスライン沿いは、草刈場であったため、ほとんどが原野で、六月中旬頃にはレンゲツツジ、七月中旬頃にはニッコウキスゲ、八月はヤナギラン・マツムシソウ・ワレモコウなどの高山植物が一面に見渡せる光景は感動もので、四季を通じて気軽に楽しむことができます。

近年、この原野にニホンジカが群れで植物を食べに来ており、特に美ヶ原牧場には、百頭以上の群れが夕方現れ、人間が近づくと息を吐き威嚇してきます。このため、今年度から「野生鳥獣との共存に向けた生息環境等整備モデル事業」により県・地元市町と連携して調査・対策を行うこととしています。

アクセス

◇自動車により、一例として中央道諏訪インターチェンジより五分、上信越道佐久インターチェンジより六十分ですが、松本市、茅野市、立科町、上田市、長和町とどこからでもアクセスできます。



美ヶ原高原美術館の野外展示物



群生しているヤナギラン



ニホンジカが現れる美ヶ原牧場